



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成19年2月期 第3四半期業績の概況
割賦購入あっせん部門、融資部門の好調により営業収益は前年同期比 8.3%の増収
利息返還請求関連費用等の増加により経常利益は前年同期比 10.0%の減益

ポケットカード株式会社(8519)の平成19年2月期第3四半期の業績は、個人消費の回復に伴う割賦購入あっせん部門、融資部門の両方が堅調に推移した結果、営業収益は289億47百万円(前年同期比8.3%増)となりましたが、一方で昨今の利息返還請求の増加及びそれに伴う貸倒関連費用の増加により、営業利益は61億50百万円(前年同期比10.0%減)、経常利益は61億45百万円(前年同期比10.0%減)、第3四半期純利益は36億58百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

収入面では、割賦購入あっせん部門が、伊藤忠エネクス(株)やコーナン商事(株)等の提携先企業での会員基盤拡大や各種キャンペーン企画の推進、カード認知度の向上により、取扱高は1,556億42百万円(前年同期比23.0%増)、営業収益は35億5百万円(前年同期比21.1%増)と大幅に増加したのに加え、融資部門では、会員基盤の拡大に伴う利用者の増加や会員の信用度に応じた機動的な与信枠の設定などにより、流動化を実施した債権を含む融資残高は1,419億56百万円(前年同期比7.4%増)、営業収益は236億20百万円(前年同期比7.1%)となり、営業収益全体では289億47百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

営業費用については、利用率の向上と効率性を重視した会員獲得の推進や業務全般の効率化等によりコスト削減に努めたものの、昨今の利息返還請求の増加及びそれに伴う貸倒関連費用の増加により、227億97百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

【単位: 百万円】

	営業収益	経常利益	第3四半期純利益
平成19年2月期 第3四半期業績	28,947	6,145	3,658
前年同期比	8.3%	△10.0%	1.8%

<ご参考:平成19年2月期 通期業績予想の修正について>

昨今の利息返還請求の増加及び平成18年10月13日付で日本公認会計士協会より公表されました「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」に対応するための引当金の計上、保有有価証券の評価損の計上等の理由により、通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

詳細は、本日公表しております「平成19年2月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

【単位: 百万円】

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	39,000	8,600	5,000
今回修正予想(B)	39,000	6,600	1,000
増減額(B-A)	-	△2,000	△4,000
増減率(%)	-	△23.3%	△80.0%
(ご参考)			
前期実績(平成18年2月期)	35,898	8,330	4,481